

歯科材料5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用象牙質接着材 42483002
ビューティデュアルボンド E X

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本材は、デュアルキュアタイプの歯科用象牙質接着材であり、直接法による歯科用支台築造材料を用いた支台築造、及び歯科充填用コンポジットレジンを用いた歯の窩洞・欠損の成形修復（根管内への適用を除く。）における歯面処理に用いる。

【構成】

構成	性状	成分
ボンドA	液	精製水、アセトン、反応開始材
ボンドB	液	アセトン、Bis-GMA、カルボン酸系モノマー、TEGDMA、反応開始材、その他

【原理】

本材はデュアルキュアタイプの歯科用象牙質接着材であり、可視光線（400～500nm）エネルギーによって重合硬化すると同時に、常温重合機能によっても重合硬化する。

※【使用目的又は効果】

- 1) 使用目的
象牙質を含む窩洞・欠損への接着に用いる。
- 2) 適応症例
直接法による歯科用支台築造材料を用いた支台築造。
歯科充填用コンポジットレジンを用いた歯の窩洞・欠損の成形修復（根管内への適用を除く。）。

※【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

【使用方法等】の【本材に使用する歯科重合用光照射器と光照射時間】に記載した歯科重合用光照射器と同等の放射照度を有する歯科重合用光照射器を使用すること。他の歯科重合用光照射器等を使用する場合は、付属の添付文書等を参考に本材に適した照射時間を確保すること。

※【使用方法等】

【本材と併用する材料】
歯科用支台築造材料：「ビューティコア」

【本材に使用する歯科重合用光照射器と光照射時間】

- 1) ハロゲン照射器
ハロゲンランプを光源とし、有効波長域 400～500nm の放射照度が 500mW/cm² 以上である歯科重合用光照射器
- 2) LED 照射器
青色 LED（照射器発光スペクトルに単一ピークあり）を光源とし、有効波長域 440～490nm の放射照度が 1000mW/cm² 以上である歯科重合用光照射器

※ 歯科重合用光照射器による光照射時間

歯科重合用光照射器	ハロゲン照射器	LED 照射器
光照射時間	10 秒	5 秒

【使用方法】

- 1) 支台築造
 - ① 築造窩洞の形成
通法に従い根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。必要に応じてラバーダム等を用いて防湿を行います。
 - ② 歯科根管用ポスト成形品（以下、歯科用ポスト）の準備（試験）
適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、築造窩洞に試

適します。アルコール等で歯科用ポストを清掃した後、適切な表面処理を行います。

※③ 歯面処理

本材のボンドAとボンドBをディスポーザブルディッシュに等量（1滴ずつ）採取し、ディスポーザブルブラシで十分に混合します。その混合液を築造窩洞に塗布し、10 秒間放置した後、十分にエア乾燥します。エア乾燥後、歯科重合用光照射器を用いて光照射（ハロゲン照射器：10 秒照射、LED 照射器：5 秒照射）を行い、光重合させます。

**※④ 築造窩洞への填入及び歯科用ポストの植立
デュアルキュア型支台築造材料を用いる場合**

ビューティコアの添付文書に従い築造窩洞内にフローペーストを直接填入します。準備した歯科用ポストを速やかに築造窩洞内に挿入し、歯科重合用光照射器を用いて光照射（ハロゲン照射器：20 秒照射、LED 照射器：10 秒照射）を行い、歯科用ポストを固定します。

光重合型支台築造材料を用いる場合

ビューティコアの添付文書に従い築造窩洞内に LC ポストペーストを直接填入します。準備した歯科用ポストを速やかに築造窩洞内に挿入し、歯科重合用光照射器を用いて光照射を行い、歯科用ポストを固定します。なお、窩洞が深い場合は添付文書に従い、数回に分けてペーストの填入・光照射を行います。

※⑤ 支台築造

ビューティコアの添付文書に従い、LC ペースト又は LC インジェクタブルを歯科用ポストの周囲に築盛します。築盛後、舌側と唇（頬）側及び咬合面等の数方向から歯科重合用光照射器を用いてそれぞれ光照射を行い、光重合させます。なお、ペーストの築盛と光照射は添付文書を参考に、必要に応じて数回に分けて行います。

⑥ 支台歯形成

十分に硬化した後、通法に従い支台歯形成を行います。

2) 歯の窩洞欠損の成形修復

① 歯面清掃

通法に従い、歯面清掃を行います。

② 窩洞形成

通法に従い、窩洞形成を行います。

③ 防湿

ラバーダム等を用い、通法に従い防湿を行う。

④ 歯髄保護

窩洞が歯髄に近接した場合は、水酸化カルシウム製剤を用いて歯髄保護を行います。

※⑤ 歯面処理

本材のボンドAとボンドBをディスポーザブルディッシュに等量（1滴ずつ）採取し、ディスポーザブルブラシで十分に混合します。その混合液を窩洞に塗布し、10 秒間放置した後、十分にエア乾燥します。

エナメル質が多い症例又は未研削エナメル質に適用する症例においては、上記の処理を行う前に歯科用エッチング材をエナメル質面にのみ適用しておきます。

⑥ 光重合

歯科重合用光照射器を用いて光照射（ハロゲン照射器：10 秒照射、LED 照射器：5 秒照射）を行い、光重合させます。

⑦ 歯科充填用コンポジットレジンの充填・重合・形態修正及び研磨

使用する歯科充填用コンポジットレジンの添付文書に従い、充填及び形態付与、ペーストの光重合、形態修正及び仕上げ研磨を行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) ユージノール系の材料及び過酸化水素水は、硬化・接着を阻害する可能性があるため使用しないこと。

- 2) 本材は、使用する前に室温に戻してから使用すること。（多量に液が出る場合があります。）
- 3) 本材は揮発成分を含むため、採取後すみやかに密栓すること。また、採取後、すみやかに使用すること。
- 4) 処置する際は排唾管又はバキューム等を作動させること。
- 5) 本材が根管内で液溜りとなった場合はペーパーポイント等で吸い取った後、エア乾燥を行うこと。
- 6) 本材を塗布する歯科修復物の被着面は汚染されないよう注意すること。もし、本材を塗布する被着面が唾液・血液等で汚染された場合は、例えばアルコール綿球等を用いて汚染された面を十分に清掃し、乾燥させ、再度本材を塗布すること。
- 7) 採取後の本材は、感染防止のため同一患者のみに使用すること。
- 8) ディスポーザブルブラシ及びディスポーザブルディッシュは感染防止のため、再使用しないこと。
- 9) 照射口はできるだけ（築造）窩洞に近接させて、光照射を行うこと。（築造）窩洞が深い場合には必要に応じて追加の光照射を行うこと。
- 10) 歯科重合用光照射器を用いた光照射時において、術者は照射光の直視を避け、保護眼鏡や遮光板等を使用すること。また、術者は患者の目に照射光が当たらないよう保護すること。
- * 11) 使用後は、歯科重合用光照射器は感染防止のため、アルコールで清拭すること。
- 12) 歯科用支台築造材料を用いた支台築造に使用する場合、本材はビューティコアと併用し、他の歯科用支台築造材料と組み合わせて使用しないこと。

*** 【使用上の注意】**

〔重要な基本的注意〕

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 本材はアセトンを含んでいるため、換気のよい場所で使用すること。万一本材の蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の場所で暖かくして休憩すること。
- 5) 本材は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- 6) 本材との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭いた後、大量の流水で洗浄すること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的な接触を防ぐが、一部のモノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、流水で充分洗浄すること。
- 7) 本材が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

*** 【その他の注意】**

本材が患部以外の部位に付着しないように充分注意すること。
本材が歯肉等の粘膜に付着した場合、その部分が白っぽくなる場合がありますが、これは一過性の現象で、2～3 日で白変は消失します。なお、この間は、白変部分に直接的な刺激を与えないように配慮すること。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・本材は、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、冷蔵庫（1～10℃）で保管すること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔有効期間〕

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

〔当社データによる〕

※(例)  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	株式会社 松風
住所	〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号	075-561-1112